

平成29年度

決

算

を

問

う



総括質疑

決算特別委員会

決算特別委員会では、9月19日・20日・21日・25日の4日間、19人の議員が決算全般について、質疑を行いました。

区民税の収納率向上対策

クレジットカード収納など、簡素な納税の仕組みを用意することが収納率向上へつながる。今後の取り組みは、

Pay Easy 収納などを導入している他自治体の事例を参考に、多様な納税方法を検討している。

ふるさと納税

総務省は返礼品を地場産品に限る見解であり、都心部の自治体には頭が痛い。寄附額を増やすアイデアは、

区の特徴を生かしたメニューを検討したい。



自由民主党議員団

内川 和久

文京区のごども宅食プロジェクトのような、気持ちに訴えるメニューを用意しては、

全国の方から賛同を得られるような内容を検討したい。災害に強いまちづくり

区内事業者の育成

緊急輸送道路の安全確保や狭隘道路の解消、電柱の地中化など、点から面への総合的な災害対策が必要では、

木密対策や水害対策などの施策を組み合わせて、総合的に、喫緊に取り組んでいく。

区内事業者の育成

保護・育成は重要な課題と考えるが、見解は、



公明党議員団

久保 りか

災害対策

自宅避難者に対する水等の物資の供給は、中野区地域防災計画にどのように計画されているのか。

区の応急給水活動は原則として避難所で行う。在宅避難者への救援物資の提供、生活支援については、次期の中野区地域防災計画に反映させたい。

国内での製造販売が解禁された乳幼児の液体ミルクを備蓄するべきではないか。

現在製品仕様等が不明のため、備蓄粉乳の賞味期限が経過した後の2020年度の購入に向けて、情報収集を行

いたい。

地域インフラの担い手として、災害対応力を高める意味でも重要と認識している。

過去5年間の工事実績が入札参加の条件となっているが、延長してはどうか。

見直しを検討したい。

区長のリーダーシップ

トップダウンとリーダーシップの違いについて見解は、

前者は上層部の意思決定を下位に伝達すること、後者は様々な意見を聞いたうえで区として最善の方向性を示すことと考えている。

区立幼稚園

就学前教育における区立幼稚園の役割、または位置付けについて区の見解は、

保幼小連携を先頭に立って推進する役割や、家庭・地域との連携を基盤とした幼児教育の拠点としての役割を担っていること認識している。

受動喫煙対策

受動喫煙による被害を防止、喫煙者本人の健康のためにも、他区の事例にならない、禁煙外来医療費助成を実施すべきではないか。

医師や薬のサポートが得られる禁煙治療は効果があると考えられるため、禁煙治療



日本共産党議員団

広川 まさのり

旅館業法施行条例の見直し

旅館業法上の旅館・ホテル営業や簡易宿所営業を始め際には、近隣住民への事前周知が義務付けられていない近隣住民との合意形成を前提として許可の判断を行えるよう、条例で定めるべきではないか。

今後、旅館業法施行条例の改正を検討していきたいと考えている。

近隣住民や宿泊者の安全・安心を考え、玄関帳場・フロアの設置を条例の中で義務付けるべきではないか。

簡易宿所について、条例で義務付けることは、事業者への負担が大きく、旅館業法関連法令の改正趣旨に沿わないものとなる。導入は慎重に研究する必要があると考える。

公衆浴場開放事業

公衆浴場開放事業「いきいき入浴」を利用する際の登録手続きは、1カ所に限らずどの浴場でも利用できる仕組み

費助成については、他自治体の動向も踏まえ検討していく。

禁煙外来や禁煙支援薬局を紹介するべきではないか。

禁煙を支援する環境を整えるため、禁煙治療を実施している医療機関の周知や禁煙外来マップの作成については、今後検討していく。

みを検討し、実施回数についても、月2回から週1回へ拡充することを公衆浴場組合と調整してはどうか。

公衆浴場組合から、登録方法や実施回数の見直しを相談したいといった話があるので、調整していきたい。

羽田空港の航路変更

国は、都内内陸部上空を活用する飛行経路案を検討している。区上空の1時間当たりの最多通過回数の想定は、

44回である。

区上空を大型旅客機が通過した場合の騒音は、どの程度になると想定しているか。

高度3千フィート通過で、70デシベル程度の想定である。

着陸のため、機体に格納された車輪を下ろす際の衝撃で、機体に付いた氷塊等が落ちる可能性がある。区上空で車輪を下ろすことはあるのか。

車輪を下ろすことは想定されないが、実際の運用を注視していきたい。

適応指導教室

中野東中学校新校舎に併設する(仮称)総合子どもセンターに、不登校児童・生徒に対する適応指導教室を設置することには、問題があると感じる。通いやすさに配慮し、区内の南部と北部に新たな適応指導教室を設置すべきでは、

巡回指導の拡充や、南部、北部地域の分室設置を検討している。